

西部地区大会参加上の注意（生徒配布用）

【服装について】

- (1) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。白一色の着衣を使用する場合には、上衣は襟付き半袖、下衣は男子ショートパンツ、女子ショートスカート又はショートパンツとする。色付き着衣及びシューズを着用する場合には、（財）日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (2) 上衣の背面中央に縦15cm、横30cmの大きさで高等学校名および県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。ゼッケンを使用する場合は、同サイズで白の無地とし、文字の色は黒色又は濃紺色とする。
- (3) ハイソックス・ルーズソックスは禁止する。
- (4) アクセサリー類の着用を禁止する。
- (5) 女子の髪留めは目立たないものとする。（カチューシャ、リボン等は不可）

【試合時について】

- (1) （財）日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトル（第1・2種）を使用する。
- (2) シャトルは、気温の適正にあわせたものを使用する。
- (3) シャトルは各校持ち寄りとし、互いのシャトルを平等に使用する。
- (4) シャトルの交換は両方のサイドが同意すれば、審判は原則的に認める。一方のサイドのみが希望するときは、必要ならば主審が試打をさせて決定する。
- (5) 汗拭き・給水等で、プレーヤーがコートを出るときは、主審の許可が必要である。
- (6) 選手へのアドバイスができるのは、90秒のインターバルとファイナルゲームまでのインターバルのみとする。90秒のインターバルではプレーヤーはコートを離れてはならない。
- (7) コート内に入れるのは、プレーヤー・審判・役員のみとする。他の者がコートに入る場合は、レフリーの許可が必要である。
- (8) フロアー内での給水は、許可された体育館のみとする。許可された場合は、スクイズボトルのみ許可する。（ビン・カン・ペットボトルは禁止する。）
- (9) 団体戦において、ベンチに入れるのは監督・コーチ・マネージャー・登録選手のみとする。
- (10) ケガ等でプレーを中断しなければならない場合、主審はレフリーに連絡し処置する。ただし、「けいれん」については簡単な治療行為は認めるが、コートを離れずに行い、速やかにプレーが再開されなければならない。
- (11) 応援は、アドバイスにならないように心がける。
- (11) ネットに手をかけたり、くぐったり、持ち上げたりしない。
- (12) 相手を威嚇することのないように心がける。
- (13) 試合終了後は、速やかに審判ができるように努める。

【その他】

- (1) 開会式には必ず全員参加すること。
- (2) ゴミは必ず持ち帰り、途中で捨てることをしない。
- (3) フロアーにおいて、試合中の給水以外の飲食は禁止する。
- (4) 上履き・下履きの区別をつける。
- (5) 貴重品の管理は、各自が確実に行う。